

第102回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成29年4月20日（木）

沖縄総合事務局

第102回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成29年4月20日（木）14時00分
場 所 沖縄総合事務局 5F 聴聞室兼会議室

出席者：

公益委員	宮里委員、儀部委員、春田委員
労働者委員	大崎委員、屋比久委員
使用者委員	大城委員、山内委員

沖縄総合事務局	大城課長、島袋調整官 宮城補佐、大村係長
---------	-------------------------

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第101回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等及び平成28年度卒業者進路状況について
3. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第101回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成29年3月分）
3. 平成28年度卒業者進路状況一覧表
4. 沖縄地方交通審議会船員部会構成員名簿（事務局含む）

宮里部会長

定刻でございますので、第102回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願ひします。

事務局（大村係長）

4月から船員部会の担当になりました船舶船員課の大村と申します。よろしくお願ひします。

本日の出席状況ですが、公益委員3名、労働者委員2名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

なお4月人事でこちらの事務局の職員に変更がありましたので、初めに船舶船員課長から職員の紹介をお願いします。

事務局（大城課長）

4月1日人事異動で船舶船員課長を務めさせていただく大城と申します。よろしくお願ひいたします。

まずは右におられますのが海事振興調整官の島袋さんです。今司会進行をしておりますのが大村係長です。宮城補佐は留年でございますので、どうぞこの4名でよろしくお願ひいたします。

事務局（大村係長）

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、初めに第101回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録をご確認ください。

議案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「はい」）

宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事2の「管内の雇用状況等及び平成28年度卒業者進路状況」につきまして、事務局に御説明をお願いします。質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（宮城補佐）

平成29年3月分の管内雇用状況等の概要についてご報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は9件でした。前月に比べ1件減少、また、前年同月に比べ1件減少となっております。

月間有効求人数は26件でした。前月に比べ2件減少、また前年同月に比べ3件減少となっております。

月間有効求人数26件の内訳は、商船等24件、漁船2件となっております。

月末未済求人数は10件でした。

●求職状況について

新規求職数は17名でした。前月に比べ14名増加、また、前年同月に比べ7名増加となっております。

新規求職数17名の内訳は、すべて商船等となっております。

月間有効求職数は23名でした。前月に比べ10名増加、また前年同月に比べ5名減少となっております。

月間有効求職数23名の内訳は、商船等22名、漁船1名となっております。

月末未済求職数は18名でした。

●成立状況について

3月は1件でした。

●求人倍率について

3月の月間有効求人倍率は、1.13倍でした。前月に比べ1.02ポイント減少、また、前年同月に比べ0.09ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

3月の新規求職者17名のうち離職者9名の退職理由は、船舶所有者都合等4名、自己都合5名、離職以外の方8名の求職理由は、就業中に転職を希望する者7名、新卒者等が1名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管内が9名、管外が8名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は1名、支給延べ件数は1件で、
基本手当支給金額は38,875円、その他の支給はありません
でしたので、総支給額は38,875円でした。

以上、管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

引き続きまして、平成28年度沖縄水産高校と宮古総合実業高校の卒業者進路状況について、ご説明いたします。

本一覧表は、各校の進路指導関係担当者からの調査報告に基づき作成しております。

はじめに、沖縄水産高校についてご説明いたします。

沖縄水産高校（糸満市）には、本科と専攻科があります。本科は3年コースであり、専攻科は高校を卒業した方が進学し、2年又は2年半コースとなっております。表に記載している入学者数は、平成29年3月卒業生の入学時の入学者数となっています。

表の上段の専攻科につきましては、漁業科9名、機関科9名、無線通信科15名が入学しております、卒業生は漁業科9名（9月修了者2名含む）、機関科8名、無線通信科10名となっています。

表の中段の本科につきましては、本科である海洋技術科・総合学科には、55名入学しております、卒業生は52名です。

つづきまして、海上関係への就職先についてご説明いたします。専攻科の海上関係への就職先につきましては、県内8名、県外8名となっております。

まず、県内の内訳についてご説明いたします。航海士につきましては、沖縄海運産業（株）1名、（株）那覇タグサービス1名、共和マリン・サービス（株）1名、琉球海運（株）1名、機関士につきましては、東亜運輸（株）2名、琉球海運（株）2名となっております。

次に、県外の内訳についてご説明いたします。航海士につきましては、NSユナイテッド内航海運（株）2名、大洋エーアンドエフ（株）1名、（株）名門大洋フェリー1名、鶴丸海運（株）1名となっております。機関士につきましては、NSユナイテッド内航海運（株）1名、鶴丸海運（株）2名となっております。

本科につきましては県内5名、県外16名となっております。

県内は、久米商船（株）に甲板員として2名、東亜運輸（株）に甲板員として1名、アジア海洋沖縄（株）に潜水士として2名となっております。

県外につきましては、甲板員は、旭タンカー（株）1名、NSユナイテッド内航海運（株）2名、共同船舶（株）1名、JXオーシャン（株）1名、藤井綱海運（株）1名、（有）佐賀勝丸2名、（株）下関漁業1名、山田水産（株）3名となっております。機関員は、（株）霧島海運商会1名、（株）二丈海運1名、となっております。その他、自衛官候補生として海上自衛隊に1名、養殖作業員として（有）共栄海事1名となっております。

海上関係進学者につきましては、沖縄水産高校本科から専攻科漁業科へ6名、機関科8名、無線通信科6名となっております。

沖縄水産高校専攻科からは、海上関係の進学者はおりませんでした。

つづきまして、宮古総合実業高校（宮古島市）についてご説明いたします。

海洋科学科には22名が入学し、2年時に各自が選択した類型に分かれ、海洋技術類型5名、海洋機関類型7名、沿岸技術類型1名、合計13名が卒業しております。

海上関係就職者は県内に1名、県外に7名となっております。内訳につきましては、2ページ下段をご覧下さい。

県内は甲板員として東亜運輸（株）1名です。
県外は、甲板員として、（独）海技教育機構2名、清峰海運（株）1名、（株）小島組2名、阪九フェリー（株）1名、機関員として、藤井綱海運（株）1名となっております。
海上関係進学者につきましては、おりませんでした。
以上です。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について、何かご質問ございますでしょうか。

大崎委員

未済の求職内訳表ですが、1カ月未満の方が急に増えて16人いるのは何か特別な事情というのがありましたか。

事務局（宮城補佐）

特別何かあったというではないですが、今まで低い感じでずっと推移していたため、3月に集中して窓口のほうにいらっしゃったということです。

大崎委員

あまりこんな感じの表を最近見たことがないので、管外と新規が非常に多く、年齢も非常にばらついていて、最近にない数字の入り方だなという気がしたので、何か特別な理由があるのかなと思って質問をさせていただきました。特段、沖縄の船員事情を他地区がみてこちらのほうに船員として来たという話ではないみたいですね。

事務局（宮城補佐）

そういう特別な理由ではないと思います。

大崎委員

ぜひこの方が船の道を選ばれているので、早いうちに就職できるように、求人とミスマッチがないように結びつけていただき船員を増やしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

宮里部会長

他にございますでしょうか。

卒業者の進路ですが、33名専攻科に入学して卒業が27名、宮古は22名入学して13名しか卒業していないというのは、約半数は辞めてしまった。あるいは、その年に卒業できなかつたということですか。

事務局（宮城補佐）

はい、そのとおりです。

宮里部会長

わかりました。
他に質問ありますでしょうか。

大崎委員

進路状況の中で沖縄水産高校の本科の備考欄に専攻科6名とか専攻科7名とかありますが、これはどこの専攻科に行かれたかわかりますか。

事務局（宮城補佐）

全員、沖縄水産高校の専攻科です。

大崎委員

了解です。

それと沖縄水産高校専攻科の無線通信科、10名中8名が就職されていて、全員県外に就職したというのは、非常に気になります。県立高校として全員が県外に就職するのは少し違和感がありますので、教育機関としてもうちょっと考えていただきたい。

今後、専攻科の枠を増やして県内事業者に就職して離島航路を守っていただきたいなと思います。

山内委員

進路未定の2名について、どのような状況にありますか。

事務局（大村係長）

高校からいただいた情報では、どこに行くかというはっきりとしたことは申し上げられないとのことでしたので未定という形にしています。今後2人がどうなったかというのは、時期をみて高校に確認しようと考えているところです。

宮里部会長

他にございませんでしょうか。
特ないようですので、議事3の「意見交換」に移りたいと思います。何かご意見等ございますか。

事務局（宮城補佐）

前回、大崎委員からご質問ありました八重山の事業者の夜間航行についてですが、当方としては定期航路事業だけを範疇に置いていまして、事業者に確認したところ、不定期航路事業のチャーター関連で夜間航行の実績があるということが確認できました。

時間外労働もあるということありますので、当該協定書が未届けの事業者については4月中に労使協定書を出していただけるよう話をしているところです。

また、労務管理についての労務監査についてですが、運航労務監理官に確認したところ、今年度において特に労働時間等に特化した監査は今のところ予定していないとのことでした。今年度の

重点事項を長期未監査船の監査とし、法令遵守がしっかりとされているか確認する必要があり、喫緊の課題としているということです。

長期未監査船の監査については、昨年度の後半より積極的に取り組んでおり、監査の主目的である海難事故防止、船員災害の予防を目指しているということでした。

しかしながら、近年のツアーバス事故を受けて、労働時間の超過による過労運転といったことも大きな社会問題となつたことから、船舶の運航にあっても過労運航を引き起こすことのないよう、今後とも通常監査の際には船員の労働時間等の確認はしっかりと実施していきたいとのことです。

以上です。

大崎 委員

ありがとうございました。

船を動かしているのは人という位置づけを持っていただいて、船体とかエンジントラブルも当然あるけれど、やはり人間の疲労というヒューマンエラーというのは当然発生するので、運航労務監理官に注視していただきたいなと思います。

宮里部会長

他にないようでしたら、事務局から連絡がありますのでお願ひいたします。

事務局（大村係長）

来月の船員部会は、通常の第3木曜日ではなく5月22日月曜日の14時から5階海技試験室で開催します。

開催通知につきましては準備が整い次第お送りしますので、出席できない場合は大村のほうまでご連絡お願ひします。

また今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、ご確認よろしくお願ひします。

以上です。

宮里部会長

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。